



Well-beingとは・・・納得して過ごせていること 自分の仕事が誰のためになっているのかがわかることがやりがい



- ・転職を考えていた夫の発案
- ・共働きでそれなりに豊かな暮らしをしていた
- ・自分は教育関係の仕事にやりがいも感じ、満足していた
- ・転職しても**3年後のイメージ**できてつまらないと感じていた
- ・夫がたまたま仕事で行ったことのある島根県の海士町におもしろい仕事があって誘われた
- ・「やってみたい」と思った夫についていくことにした

- ・自分の仕事を辞めたくはない
- ・近所に住む親は寂しいと言った
- ・島根は行ったこともなかった
- ・チャレンジするのはおもしろそう
- ・2-3年島で暮らすのもキャッチーでいい。TV番組で取材されたらおもしろい
- ・会社も戻って来ていいと言っている
- ・仕事にも復帰できると言ってくれてる
- ・**永住するわけでなし、帰ってくる場所もあるんだから今の生活を一回手放してみよう**、3年くらいで帰ってくればいい、と気軽な気持ち
- ・1度も現地を訪れないまま移住

- ・東京では妊活しても授からなかった子供を半年で授かった
- ・生活は100点に近い。近所付き合いで心温まるやり取りがある、おいしい野菜も魚もある、お金遣わなくても遊ぶところはある
- ・**職住近接**で家族が一緒にいられる
- ・もの足りないのは仕事のおもしろさ。東京でやってきたことを生かしてはいない（今年総菜屋を開いた）
- ・田舎暮らしは意外と忙しい。仕事の他、イベントや農作業など。**ご飯作るの嫌だなと思うことがある**。そんなニーズに応えて繁盛している
- ・**商売だけど福祉的な感じ**

- ・東京は仕事をする場所ではあるが、生活する場所ではないと感じた
- ・通勤が楽ってことの価値を実感
- ・住みやすさは働きやすさだ
- ・**人を信頼できるとコストが掛からない**
- ・コンビニもないし、衝動買い的にお金を遣うことはなくなった
- ・島のため、町のためを思って暮らすという価値観が共通している心地よさ
- ・「ないものはない」という町のメッセージと「**滞在人口**」を増やすという指標に共感
- ・**競争ではなく、共存**していくという考え方が浸透している

この先

- ・子どもが小中高と同じメンバーで過ごすことが良いのかな？
- ・仕事のおもしろさを感じ続けられるか？